

名鉄の不思議 パノラマカー

(その三)

これほどに名車といわれてきた「パノラマカー」も、約20年経過して、老朽化も目立ち始めたので、1984(S59)年に新型パノラマカーが「パノラマDX」が投入されました。

特徴 : パノラマDX

初代のパノラマカーでは、展望座席について、常に安全上、議論があった座席をハイデッカー式に2階に上げて運転席を1階に降ろした。塗装色も変わり、デザインも無骨になり、初代ほど人気はなかった。



特徴 : パノラマスーパー

これに懲りてか？4年後には「パノラマスーパー」を誕生させた。



外観はパノラマDXを部分変更したものであるが、車内は新幹線を意識してか？快適性を向上させているらしい(乗っていない)。塗装色も、ファンの声には勝てず前面だけは、初代のスカーレットを塗っています。

特徴 : 創立115年記念



ファンの声は大きなもので、名鉄創立115年に初代パノラマカーも不惑の48歳を迎えたのを記念して、初代パノラマカーによる記念運転とか、記念キップが発売されるなど大イベントが実施され

、これによって、一応の面目を保った状態です。

しかし、

小田急SE車のように名車になったものを順次に発展させて行くのではなく、初代は初代、DXはDX車、スーパーはスーパー車と、その都度、別系列を開発していく名鉄の不思議があります。